

(別添2)

令和元年9月12日

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、御注意ください。なお、関係者にも周知をお願いします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第10760号	タチガレン粉剤	ヒドロキシイソキサゾール粉剤	三井化学アグロ(株)
第22323号	タチガレン粉剤	ヒドロキシイソキサゾール粉剤	ホクサン(株)

#### ■ 変更内容及び変更理由

##### 【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

- ・ 作物名「稲(箱育苗)」、「稲(折衷苗代)」及び「稲(畑苗代)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・ 作物名「稲(湛水直播)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「2回以内(種もみへの処理は1回以内、本田では1回以内)」から「1回」へ変更する。

##### 【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

###### 【 変更前 】

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり4~8g	は種前	1回	育苗箱土壌 に均一に 混和する。	4回以内 (移植前の 土壌混和は 1回以内、移 植前の土壌 灌注は2回 以内、本田で は1回以内)
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり3~6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	50~100g/m <sup>2</sup>			深さ5~10 cmの苗代土 壌に均一に 混和する。	

【変更前】 (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドメキイサ ザールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (折衷苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	50~100g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	深さ5~10 cmの苗代土 壌に均一に 混和する。	4回以内 (移植前の 土壌混和は 1回以内、移 植前の土壌 灌注は2回 以内、本田で は1回以内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による苗立の 安定	乾籾重量の 3%			過酸化カルシ ウム 剤に添加し て種子に湿 粉衣する。	2回以内 (種もみへの 処理は1回 以内、本田で は1回以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドメキイサ ザールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり4~8g	は種前	1回	育苗箱土壌 に均一に 混和する。	3回以内 (移植前の 土壌混和は 1回以内、移 植前の土壌 灌注は2回 以内)
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり3~6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	50~100g/m <sup>2</sup>			深さ5~10 cmの苗代土 壌に均一に 混和する。	

**【 変更後 】 (続き)**

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドメシイサ ザールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (折衷苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	50～ 100g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	深さ5～10 cmの苗代土 壌に均一に 混和する。	3回以内 (移植前の 土壌混和は 1回以内、移 植前の土壌 灌注は2回 以内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による苗立の 安定	乾籾重量の 3%			過酸化カルシウム 剤に添加し て種子に湿 粉衣する。	1回

**【 申請者による変更理由 】**

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。